

甲 第 号

黒川 紘章 学位請求論文

審 査 要 旨

奈 良 県 立 医 科 大 学

論文審査の要旨及び担当者

	委員長	教授	庄 雅之
論文審査担当者	委員	病院教授	城戸 顕
	委員(指導教員)	准教授	谷口 晃

主論文

Total ankle arthroplasty incorporating a total talar prosthesis - a comparative study against the standard total ankle arthroplasty

人工距骨併用の人工足関節置換術

Kurokawa H, Taniguchi A, Morita S, Takakura Y, Tanaka Y.

Bone Joint J. 2019 Apr;101-B(4):443-446.

論文審査の要旨

末期変形性足関節症に対する手術治療として、人工足関節置換術(TAA)がある。著者らは特に術前の距骨の変形が重度である症例に対してカスタムメイドの人工距骨を作成し、距骨インプラントとして用いた治療を行ってきた。本研究の目的は人工距骨を併用した TAA(Combined TAA)の臨床成績を評価することであった。2009 年以降に変形性足関節症に対して手術治療を行い、術後 3 年以上経過観察が可能であった症例で Combined TAA 群 10 例 10 関節、通常の距骨インプラントを用いた Standard TAA 群が 12 例 12 関節を対象とした。術後平均観察期間は約 5 年。術前後の Japanese Society for surgery of the foot (JSSF スケール)、the Ankle Osteoarthritis Scale (AOS)と術後 the Self-Administered Foot Evaluation Questionnaire(SAFE-Q)を用いて評価した。その結果、Combined TAA 群では術後 JSSF は有意に改善しており、SAFE-Q ではすべての尺度で Combined TAA 群が良好な傾向にあった。術前の距骨の変形が重度であるような症例に対して、距骨インプラントとして人工距骨を併用した Combined TAA は良い臨床効果をもたらした。

公聴会では、罹患率、本研究で用いた統計処理方法、より長期成績の検討の必要性、適応疾患の客観的評価法、既存治療との相違、両側例に対する対応などの質問が為されたが、的確な考察のもとに適切に回答された。

以上より、本研究は博士（医学）の学位に値すると評価できる。

参 考 論 文

1. Is metatarsus primus elevatus truly observed in hallux rigidus? Radiographic study using mapping methods.
Ohara K, Tanaka Y, Taniguchi A, Kurokawa H, Kumai T, Yamada H.
J Orthop Sci. 2018 (in press)
2. Outcomes of Bilateral vs Unilateral Ankle Arthrodesis.
Maenohara Y, Taniguchi A, Tomiwa K, Tsuboyama D, Kurokawa H, Kumai T, Tanaka S, Tanaka Y. Foot Ankle Int. 39(5):530-534. 2018
3. 内反型変形性足関節症 stage 3a、3b の自然経過における予後不良因子の検討
黒川 紘章, 谷口 晃, 森田 成紀, 田中 康仁日本足の外科学会雑誌
39(1):200-202, 2018
4. 足関節 変形性足関節症に対する手術アプローチ
黒川 紘章, 谷口 晃
Orthopaedics 31(5):47-154, 2018
5. 人工距骨置換術 今後の可能性と課題
黒川 紘章
関節外科 37(1): 107-113, 2018
6. 足関節・足部の診察 下腿、足関節・足部の解剖

黒川紘章, 田中康仁

整形外科 日常診療のエッセンス:54-63, 2018

7. 足関節・足部の診察 バイオメカニクス

黒川紘章, 田中康仁

整形外科 日常診療のエッセンス:64-65, 2018

8. リウマチ性足関節炎に対して距骨下関節固定術を併用した人工足関節置換術の術後成績

黒川 紘章, 田中 康仁, 森田 成紀, 谷口 晃, 熊井 司

日本人工関節学会誌 47:469-470, 2017

9. 変形性膝関節症患者における動作能力と足趾握力の関連性の検討

坂東 峰鳴, 藤井 唯誌, 幸田 仁志, 松岡 大輔, 黒川 紘章, 福本 貴彦, 田中 康仁

日本足の外科学会雑誌 38:118-121, 2017

10. 手術のバリエーション(基礎編) 第1 中足骨水平骨切り術 適応と手術手技について

黒川紘章, 田中康仁

整形外科 Surgical Technique 7(6): 635-641, 2017

11. 足のアセスメントと検査 骨・筋肉・関節のアセスメント

黒川紘章, 田中康仁

フットケアと足病変治療ガイドブック 54-57, 2017

12. Radiographic Morphologic Characteristics of Bunionette Deformity.
Shimobayashi M, Tanaka Y, Taniguchi A, Kurokawa H, Tomiwa K,
Higashiyama I.
Foot Ankle Int. 37(3):320-326. 2016.
13. 距骨壊死に対する鏡視下足関節固定術の治療経験
前之原 悠司, 熊井 司, 富和 清訓, 坪山 大輔, 黒川 紘章, 谷口 晃,
田中 康仁
日本足の外科学会雑誌 37:337-341, 2016
14. 変形性足関節症における骨切り術後の損傷軟骨再生について
黒川 紘章, 田中 康仁, 前之原 悠司, 富和 清訓, 坪山 大輔, 谷口 晃,
熊井 司
日本足の外科学会雑誌 37:121-123, 2016
15. 両側足関節固定術の是非 片側群と比較して
前之原 悠司, 田中 康仁, 富和 清訓, 坪山 大輔, 黒川 紘章, 谷口 晃,
熊井 司
日本足の外科学会雑誌 37:26-29, 2016
16. 人工足関節置換術後の距骨圧潰に対して人工距骨を併用した人工足関節

再置換術を施行した関節リウマチの2例

黒川 紘章, 田中 康仁, 前之原 悠司, 富和 清訓, 谷口 晃, 熊井 司

中部日本整形外科災害外科学会雑誌 59(3):591-592. 2016

17. これは何でしょう? Q&A 足部 Charcot 関節症

黒川 紘章, 熊井 司, 田中 康仁

Bone Joint Nerve 6(1): 211-213, 2016

18. 疾患各論 足関節症 変形性足関節症 足関節固定術 両側の変形性足

関節症に対する鏡視下足関節固定術の術後成績

前之原 悠司, 田中 康仁, 坪山 大輔, 黒川 紘章, 谷口 晃, 田中 栄

別冊整形外科 69: 140-141, 2016

19. 位脛骨骨切り術の適応と限界

黒川 紘章

関節外科 35(1): 14-21, 2016

20. An Alumina Ceramic Total Talar Prosthesis for Osteonecrosis of the Talus.

Taniguchi A, Takakura Y, Tanaka Y, Kurokawa H, Tomiwa K, Matsuda T, Kumai

T, Sugimoto K.

J Bone Joint Surg Am. 97(16):1348-1353.2015.

21. Modified gap technique における冠状面脛骨骨切り精度が屈曲 gap に及ぼ

す影響

黒川 紘章, 藤井 唯誌, 登 希星, 世古 宗仁, 北野 修二, 稲垣 有佐, 上松 耕太, 小川 宗宏, 川手 健次, 田中 康仁

日本人工関節学会誌 45:357-358, 2015

22. 距骨圧潰を伴う変形性足関節症に対して両側とも人工距骨を併用した人工足関節置換術を施行した2例

黒川 紘章, 田中 康仁, 富和 清訓, 大原 邦仁, 松田 剛典, 林 宏治, 谷口 晃, 熊井 司, 高倉 義典

日本人工関節学会誌 45:271-272, 2015

23. 副長趾屈筋(Flexor digitorum accessorius longus muscle)によって足関節内側後方の疼痛を生じた1例

中村 俊介, 田中 康仁, 谷口 晃, 黒川 紘章, 富和 清訓, 熊井 司

日本足の外科学会雑誌 36: 334-336, 2015

24. 内反型変形性足関節症に対する下位脛骨骨切り術において腓骨の処置に注目した治療成績

黒川 紘章, 田中 康仁, 谷口 晃, 亀田 壮, 大原 邦仁, 富和 清訓

日本足の外科学会雑誌 36: 62-65, 2015

25. 強剛母趾に対する Cheilectomy と第 1MTP 関節固定術の術後成績の比較

大原 邦仁, 田中 康仁, 谷口 晃, 黒川 紘章, 富和 清訓, 熊井 司

日本足の外科学会雑誌 36: 50-53, 2015

26. 虚血性足部壊疽に対して経皮的血管形成術(PTA)後に Pirogoff 法を施行し

た 2 例

中部日本整形外科災害外科学会雑誌 58: 799-800, 2015

黒川 紘章, 谷口 晃, 富和 清訓, 大原 邦仁, 熊井 司, 田中 康仁

中部日本整形外科災害外科学会雑誌 58: 799-800, 2015

27. 両側思春期扁平足に対し踵骨骨切りによる外側支柱延長術を施行した 1 例

大原 邦仁, 田中 康仁, 富和 清訓, 黒川 紘章, 谷口 晃, 山田 治基

中部日本整形外科災害外科学会雑誌 58:309-310, 2015

28. スポーツによる閉鎖性距腿関節単独脱臼の 3 例

黒川 紘章, 中山 正一郎, 谷口 晃, 田中 康仁

日本整形外科スポーツ医学会雑誌 35: 52-55, 2015

29. スポーツによる距腿関節単独脱臼の 2 例

黒川 紘章, 中山 正一郎, 谷口 晃, 田中 康仁

日本整形外科スポーツ医学会雑誌 35: 52-55, 2015

30. 中足部のスポーツ傷害に対する最新の治療戦略 見逃されやすく注意が必要な疾患について スポーツ選手の有痛性外脛骨に対する手術的治療

中山 正一郎, 黒川 紘章, 田中 康仁

日本整形外科スポーツ医学会雑誌 35: 26-31, 2015

31. 外反母趾手術に必要な低侵襲麻酔

黒川紘章

整形外科最小侵襲手術ジャーナル 77: 39-43, 2015

32. 人工関節置換術 人工距骨置換術 手術手技のポイント

黒川紘章

整形・災害外科 58(9): 1213-1217, 2015

33. 足関節・足部のスポーツ障害の診断と治療

黒川 紘章, 田中 康仁

臨床スポーツ医学 32(4): 398-403, 2015

34. 部位別の評価法 足部疾患の評価法とその活用 患者立脚型評価質問票
を中心に

黒川 紘章, 田中 康仁

関節外科 33(10): 106-112, 2014.

以上、主論文に報告された研究成績は、参考論文とともに運動器再建医学の進歩に寄与するところが大きいと認める。

令和元年 6 月 11 日

学位審査委員長

消化器病態制御医学

教授 庄 雅之

学位審査委員

運動器再建医学

病院教授 城戸 顕

学位審査委員(指導教員)

運動器再建医学

准教授 谷口 晃